



令和8年5月1日現在	
総世帯数	2,024世帯
総人口	4,034人
男	1,920人
女	2,114人

初めまして 新任です！



清水小学校
教頭 下川 泰孝

4月より清水小学校教頭としてお世話になっております下川泰孝です。
先日の「学校サポート町懇談会」には、第三地区から多数のご参加をいただきありがとうございます。地域の皆様と直接お話しできたことは、子どもたちにとって自分の町をより身近に感じる素敵な機会となりました。
これから皆様とのつながりを大切に、笑顔あふれる学校づくりに努めます。
今後ともどうぞよろしくお願いたします。

清水中学校



教頭 中村 功

4月より、清水中学校にお世話になっております。木造校舎に生徒の明るい挨拶と澄んだ歌声が響く伝統ある本校に赴任し、身の引き締まる思いです。

「すなおさ・若々しさ・たくましさ・ゆかしさ」という学校目標を目指してきた本校は、地域の皆様に支えられ続け、今年で開校八十周年を迎えることとなりました。現在のような予測困難な時代の中では、他者と協力し最適解を見出しながら力強く生き抜く力が求められています。その土台となるのが本校教育目標「すなおさ・若々しさ・たくましさ・ゆかしさ」であるのではないかと感じているところです。
地域の皆様には、本校の「清

流の時間」における地域めぐりをはじめとした探究的な学習に関わっていただきながら、学校目標の具現化にお力添えをいただいております。今後とも日々の登下校を見守り、お声がけいただいたりしながら、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



館長 岡田 英恵

あがた児童センター

4月1日からあがた児童センターに着任いたしました。毎日二つの小学校から子ども達が元気に「たたいま」と帰って来ると、センターの中が明るくなるように感じます。子ども達の発するエネルギーの素晴らしさを実感する日々です。
今後は地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきながら、子ども達を大切にお預かりして育み、児童センターが地域のお役に立てることを考えて参ります。どうぞ皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

第2回第三地区文化祭 開催!!

3月7日(土)、8日(日)、第2回第三地区文化祭が開催されました。公民館や福祉ひろばで活動する31団体が日頃の活動の成果を披露したほか、スタンプラリーや抽選会といった新しい企画も行われました。
今回は町会役員だけでなくサークルの代表者も実行委員に加わり、地区住民と公民館利用者が一体となって創り上げた文化祭でした。また、表に見えない部分でも多くの方のご協力があり、無事、盛大に開催することができました。
令和8年度の第3回第三地区文化祭は、例年11月に開催している第三地区作品展との同日開催を予定しています。二つの事業が合わさり第三地区がさらに盛り上がることを期待しています。



お赤飯準備の様子

第三地区住民で作品展に初めて出展したい方がいらつやいましたら、第三地区公民館にお問い合わせください。
(電話 36-7040)

バレリーナ気分ストレッチ



3月26日(木)、公民館主催のチェアバレエ・エクササイズ講座が行われました。イスを使いながら、クラシック音楽に合わせて腕や脚を伸ばしたり、リズムに合わせて足踏みをしたりしました。曲によってはまるでバレリーナになったかのような気分になりました。また、フラメンコのような激しい曲にも挑戦し、細かい動きをする場面もありました。
楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。ぜひ皆さんもクラシック音楽に合わせて優雅な気持ちでストレッチをしてみませんか？

令和8年度 町会長紹介



第三地区町会連合会 会長あいさつ

暦の上では春の4月ですが、今年最高気温25℃以上の夏日が4月中に4日もありました。静岡では最高気温が30℃以上の真夏日も記録しています。更に気象庁は、最高気温が40℃を超える日を酷暑日と設定しました。こんな温暖化の状況ですが、源池小学校は来年度プールが無くなり、跡地に特別支援学校が併置され、水泳の授業は民間委託となります。私が源池小学校に入学した70年前は水泳の授業は薄川でした。またプールの無い学校になるのですね。

時代とともに変化していく第三地区ですが、これからも住みやすい町を目指して町会運営を進めて参ります。(海野 幸頼)

令和8年度 館報編集委員の紹介

- ◆ 委員長 降旗 都子 (四ツ谷東)
- ◆ 副委員長 武井 厚 (東町南)
- ◆ 委員 片桐 直利 (東町北)
- 三澤英明 (四ツ谷町)
- 江上 香代 (金山町)
- 曾根 淳子 (西埋橋)
- ◆ 全市版委員 上條 恒嗣 (東町北)

※取材等に伺いましたらご協力をお願いいたします。



「ムムム...もう限界!」

新聞を読み終わる前に目の焦点が合わなくなっていました。眼科を受診すると先生いわく「遠近用メガネは近くを見る範囲が狭いため疲れます。近近レンズか中近レンズのメガネを別に作ることをおすすめします。」と言って点眼薬を処方。数軒のメガネ屋さんをハシゴして中近レンズのメガネを作った。フレームのデザインは気に入っているが、他人から見ると滑稽に見えるかもしれない。しかし、新聞は見やすくなった。

後日メガネ屋さんから「アフターサービスのご案内」のメールが入っていた。開いていじっていると「バーチャル試着」なるものを見つけて押してみた。「オッ!勝手に自撮りして、いろんなメガネをかけられるじゃないか。」横を向いたり遠ざけてもメガネがピタリ付いている。「なんだ、最初から知っていたらメガネ選びが家で出来たのに。」でも面白いぞ!」

そういえばAI (人工知能) は自分の顔を着せたり、眼の整形手術の選択ができるCMまで作る。便利さと引き換えにフェイク動画に惑わされないように気を付けたいものである。

(三代澤 英明)